



飛騨っ子



令和8年1月22日発行 NO10
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口悟
TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

楽しく、子育て交流タイム！



< 通信【飛騨っ子】 >

□ サロン型家庭教育学級のすばらしさ … 令和8年度への種蒔き 1

今年度の特徴として、学校の授業参観後に行われている学級懇談会をサロン型家庭教育学級として取り組まれている学校が増えつつあることが挙げられます。

取り組まれている学校関係者の声を紹介しますと、「保護者同士が仲間をつくってほしいこと（孤立しないでほしい）」「変化の止まることのない時代の中を親も子も生きており、安心できる環境を大切にしたいこと」「複数の小学校（保育園）から中学校（小学校）へ入学してくる校区の事情（つながりギャップ）に対応したいこと」「保護者同士が相談し解決できる力を育みたいこと」「交流している姿に触れ、PTA活動も見直しながら工夫できることがあること」…などなどがありました。

◇<小さな挑戦 → 大きな効果> … 高山市立山王小学校の実践から

○これまでの学級懇談会（約30分）

- ・学校からの連絡・説明
- ・順番に子どもの様子等について話すなど

<効果>

- ・対話的・主体的・賑やか・自由・笑顔・尊重の広がり
- ・同学年の子をもつ保護者のつながり力の育成など

○令和6・7年度の学級懇談会（約30分）

- ・子育てについての悩みなどについて交流（特にテーマなし）
- ・学校からの連絡・説明（必要な事のみ）（30分外）



<9月 高山市立山王小学校>



<6月 下呂市立上原小学校>



<7月 下呂市立小坂小学校>



<10月 下呂市立北中学校>



<12月 高山市立北小学校> P3 参照

各学校のサロン型の形態は様々です。

- ・時間は30分程度（延びることあり）
- ・テーマはあったりなかつたり
- ・司会者、記録者は特になし
- ・グループ分けは、その時々
- ・事前アンケート調査は、あつたりなかつたり
- ・担任の先生は、参加したりしなかつたり
- ・まとめるごとや発表はなし
- *事後アンケートはあるとよいかも（気づきや学びが共有できる）

*写真：通信【飛騨っ子】にて紹介した学校の様子です。

□ 飛驒市旭保育園 親子で山中和紙ランタンづくり
 ○期日 令和7年11月14日(火) ○会場 旭保育園こどものひろば ○主催 幼児学級委員会

あさひ

幼児学級開催のお知らせ

令和7年 10月 20日
旭保育園 保護者会

来年度、旭保育園は近隣の双葉保育園と統合します。旭保育園最後となる今回の幼児学級は、多くの保護者の方に参加していただける行事を企画しました。

講師：地域おこし協力隊（飛驒市）

内容：河合町で生産されている山中（さんちゅう）和紙を活用します。三角錐に折った和紙に、子どもたちが絵を描いたりスタンプを押したり飾りつけをしたりします。最後にライトを装着し、ランタンに仕上げます。 右写真→

ご参加は、ご両親に限らずご祖父母等どなたでも構いません。どなたのご参加も難しい方がみえましたら、役員もしくは園までご連絡ください。



<山中和紙って、知ってるかな?>



<こうやって、三角の部分を合わせて>



<ほら、LED ライトをつけるよ～>

しさも気づきも学びも、どんどん広く深く強くつながっていきます。

家庭教育学級の取組は、すばらしい。

保護者の子育て・家庭教育について学ぶ機会（「子育ての当事者を支援する」）は、とても意義深いです。

第3期飛驒市子ども・子育て支援事業計画(R7~R12)には、「子育て当事者を支援する」という方針が掲げられており、出生から義務教育終了まで年代ごとに家庭教育の機会を提供することが示されています。市内保育園の幼児学級は、この施策のもとで運営されています。

地域の中で地域のモノが消費されていくサイクル…山中和紙の素材の質…こんなに良質なものがとれる地域はそんなにありません！ すばらしい自然環境がある…それを伝えたい！ 山中和紙の良さを広げることが飛驒の良さを広げることにつながります！ 質で勝負できる環境があります！ …そんな文化を今日のように体験することで伝承していくみたい…飛驒のもったいない文化…飛驒ってすごいなに落ち着かせたい。（講師）



大丈夫です。作れます！ 最後は、みんな
であかりを灯して、終わりたいと思います！

通信（あさひ）発行のNO12号とは、すごい！

幼児学級委員の案内により、大変多くの保護者の方々が参加し、子どもたちと一緒に、ランタンづくりを楽しみました。地域の大重要な資源となる（ひと：講師・もの：山中和紙・こと：幼児学級）を有効に活用した取組は、最後に子どもたちが手に吊るしたランタンのあたたかな明かりとなって輝きました。

地域の中で地域のモノが消費されていくサイクルの存在…講師の方が熱く語られた「飛驒ってすごい！」は、このような仕組み（取組）のことだと感じました。

今回、そのすばらしさは旭保育園の家庭教育学級で伝えられました。

一家庭の親子の取組が、こうして「学級」とした活動となることで、親同士の、子ども同士の、家族同士のふれ合う機会となり、喜びも樂

□ 高山市立北小学校 その家族ルール、うちだけ!? ~家庭内の様々なルール~ サロン型
○期日 令和7年12月1日(月) 授業参観後 ○会場 1・2年生の各教室 ○主催 家庭教育学級担当

- ◇ サロン型(授業参観後)家庭教育学級の予定
・6月:子どもの成長を感じること・10月:子育ての悩み・12月:わが家のおもしろい約束



家庭教育学級生(1年生保護者)様
令和7年11月4日
高山市立北小学校
家庭教育学級担当

『その家族ルール、うちだけ!? ~家庭内の様々なルール~』アンケート

家庭教育学級は、子ども一人ひとりについて学んだり悩みを話し合ったり、おもな家庭について振り返ったりする事で、保護者の感情移入、安心・自信をもって家庭教育を行えるようになりますが、家庭教育学級の「おもな月」のテーマで、子育てサロン型(家庭教育会議)では、「家庭内でない隣係もつくるためのルール作り」について、おもな月をめぐらすように計画しています。事前に背景からアンケートを少し、活用させていただきます。ご協力をお願いします。

当面はある□に✓を付けてください。

1. 家族ルールについてお尋ねします
 ① 家庭内に家族ルールはありますか
 ② どのようなルールですか
 ③ ルールをつくって良かったこと・良くなかったことは?

2. 家庭内ルール作りについて、他の保護者の方に相談・広めたいこと等

①(□でいいと回答した方)どのような家族ルールを作ったかったこと、悪かったことを教えてください。
 おもな月は、ゲームについて遊ぶことが多いので、家族で一緒にやかましく、ワクワクして遊べます。
 時間がでけますよかったです。また、夏休みは、家族で一緒に遊んでいたいから、今後も遊んでいたいです。
 2.「家庭内のルール作り」において、他の保護者の方に相談したいと聞きたいこと・広めたいことなど、ご自由に書いてください。
 読み読みが好きで毎日博報書でから、自由時間いろいろあります。テレビもよく見るよ。

②ご協力ありがとうございました③ 11月17日(月)までに提出して下さい。

アンケートの内容 (*)

『その家族ルール、うちだけ!? ~家庭内の様々なルール~』アンケート

1. 家族ルールについてお尋ねします
 ① 家庭内に家族ルールはありますか
 ② どのようなルールですか
 ③ ルールをつくって良かったこと・良くなかったことは?

2. 家庭内ルール作りについて、他の保護者の方に相談・広めたいこと等

どの学級もアンケートの回答率が高い。嬉しい!

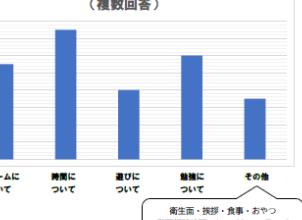
学級ごとに、それぞれ特徴がある。おもしろい!

その家族ルール、うちだけ!? ~家庭内の様々なルール~
アンケート集計結果

家庭内に家族ルールはありますか? (n=29)



どのような家族ルールですか? (複数回答)



- 1 ① はい ② 時間にについてのルール ③ おふろの後は、テレビを消して過ごすようにして、家族ですごろくやかるた、ワーク等をして過ごす時間ができて良かったです。また、家族皆そろって食事をするようにしているので、今日のできごとを話し交流でき良かったです。
- 2 勉強が終わって明日の準備ができたら自由時間にしているのですが、テレビ等の視聴時間は決めていますか?

お子さんたち、宿題はいつやつてるんですか?



担当の先生が「春のリーダー研修会に参加し、本校にとって家庭教育(学級)を充実させることはとても重要だと思いました。」「子どもたちの成長にとって、保護者のつながりや思いの共有はとても大切です。」と、話してくださいました。

1年間を通して、保護者が集まる機会を活用し、授業参観後の時間を「子育てサロン型の家庭教育学級」として取り組まれています。年3回のテーマは、子どもたちの成長に合わせて考えられており、1年生の保護者が子育て(家庭教育)の視点を持ちやすい内容となっています。

アンケートの内容(*)が具体的で、わかりやすいです。また、「2家庭内ルール作りについて、他の保護者の方に相談・広めたいこと等」の記述欄は、家庭教育学級(サロン型)を進める上でとてもよい工夫です。自分の子育てに対する思いや相談事を投げかけられる安心感を生み出し、お互いの思いを共有しあって1年生の子どもたちを育もうとするつながりをつくり出しています。

遊びに行くのは、一度帰宅してからですか?



この日(3回目)は、インフルエンザ流行の真っ只中で、3学級あるうちの1学級は午後より学級閉鎖となっていました。それでも、2つ学級には少人数でしたが保護者の方々が集まり、担任の先生とアンケートをもとに交流し、大変盛り上がりました。参加者の中には、県外から高山市にみえた方もいて、貴重な時間となっています!

□ 高山市立松倉中学校
○期日 6月18日, 8月19日 ○場所 松倉中学校内 ○主催 PTA 保健委員会



◇ (不定期) カタリバサロン サロン型



をつくりてみようということになり、取組が始まりました。

2 手順

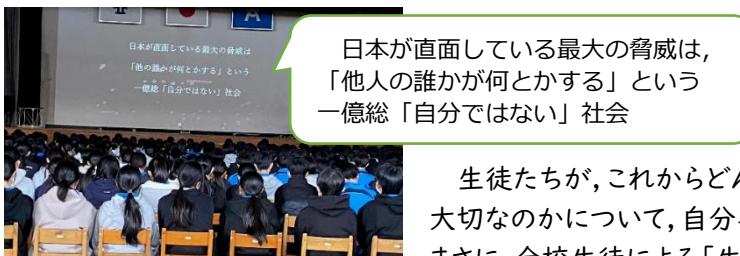
開催のポイントとして①職員玄関などから入らなくとも、直接入れる教室等を会場とする ②学校の職員は関わらない（参加しない）としました。カタリバサロンの案内を学校便りに掲載するとともに、別の案内（左上：チラシ）を作成し学校メール（すぐーる）により配信し、参加者が増えるように広報しました。

3 取組の結果

結果として、思うように参加者が集まりませんでした。開催中、校長先生や教頭先生が新しい取組を覗きに来てくださいました。（予想外に話が盛り上がりいました。）委員長さん曰く「開催する時間帯に無理があるのかも…」と、ぽつり。保護者の家庭教育について学ぶ機会は、12月に開催される親子講演会につなぐこととなりました。

◇ 親子講演会（高山市家庭教育充実事業 学ぶPTAを活用） 講演会型

○期日 12月5日（金） ○場所 体育館 ○講師 環境活動家・事業家・作家 ○対象 全校生徒・保護者
○主催 PTA 保健委員会 ○テーマ 「気象変動を自分事として捉え行動を起こすことについて」



環境問題等から世界各地で活動され、世界的な視点から物事を考え判断し行動されている講師の方が紹介する映像やメッセージは、とてもインパクトがありました。

生徒たちが、これからどんな視点・考え方を大切にして歩んでいくことが大切なのかについて、自分事として聞いている姿がとても印象的でした。まさに、全校生徒による「生き方学習」です。



講演が終了し、質問タイム（約30分）となりましたが、全校生徒による質問は止まりませんでした。1年生も3年生も男子も女子も、次々と挙手し、講演の内容について自分の思いを自分の言葉で、真正面から講師の方にぶつけていました。全校生徒が、自分たちの生き方をより良く高めようと真剣に探っているようでした。

後列に準備された座席で、全校生徒（わが子）と一緒にになって講演と質問する生徒の姿を視聴している保護者の方の存在が、印象的でした。「親子による生き方学習」です。

保護者が思春期を向えたわが子の良きアドバイザーとなるよう、保護者同士が一緒に学んだり交流したりする機会はとても大切です。